

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市燕沢児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 25,952人 (前年度比 112.6%) 平成29年度 23,055人 平成28年度 21,469人 平成27年度 21,006人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 33,103千円 (36,778千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、保護者懇談会後に親子レクリエーションを実施し、保護者同士の交流や親子の触れあいの場を設けている。クラブ全体の様子、育成支援の内容等について全ての家庭に情報を提供し理解を深めているほか、一人ひとりの子どもの様子を伝える機会として、新規登録や1年生の保護者を対象に個人面談を実施している。子どもに関する情報の共有を図り、家庭と連携した育成支援に努めている。 中学生を対象にチラシを配布するなど広報に取り組み、利用者数の増加がみられたほか、中学校吹奏楽部、高校科学部と連携し交流の場を設けている。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>地域関係団体と深い関わりを持って、児童館運営を行ってきました。地域の学校との関係では、燕沢小学校とは年3回の「出前児童館」等で、西山中学校とは「吹奏楽演奏会」や「職場体験」「国際交流」等で、仙台三高とは「科学遊び」等で交流を図っています。どの行事も、子供たちが大変楽しみにしていて、地域の皆さんも参加されています。</p> <p>児童館は、地域の「学区民祭り」「俺たちの祭り」「バルシアテラスパーティー」等のお祭りで小学生向けのゲームコーナーを担当し、工作も含めてたくさんの地域の皆さんに楽しんでいただいています。反対に「児童館まつり」は、児童クラブ保護者、燕沢小PTA、おやじの会、少年野球クラブ、交通安全協会、ゆうゆう会、老人クラブ、子育て支援クラブ、民生委員児童委員協議会、体育振興会、文化振興会、地域ボランティアの方々等、たくさんの皆さんの応援を受けて、出店やゲームコーナー等が盛大に開催され、地域の皆さんも楽しみに待っている燕沢地区のお祭りの一つになっています。</p> <p>異学年交流による運動体験や複数で行うゲーム体験等の機会を増やすことで、児童のコミュニケーション能力や心身の成長を図っています。</p> <p>午前中の乳幼児親子来館者には、自由活動や登録制によるクラブ活動・集団遊び等のいろいろな活動メニューを用意し、利用しやすい雰囲気をつくり、乳幼児親子の交流の場を設けています。子育て支援クラブと共催で子育てサロンや外部講師による行事を開催し、各々が抱える子育ての悩みを相談したり話し合ったりしています。</p> <p>児童クラブ登録児童には、一日の大まかな時間の流れを説明しており、運動遊びやゲームだけでなく、学習や読み聞かせ等の落ち着いた生活時間も保証しています。また、お迎え等で児童館を訪れる保護者と、児童についての話題を中心に常に情報交換し、児童館として子育て支援に取組む姿勢を保護者に伝えています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域組織、団体、住民等との連携・協力関係を深め、児童館活動や地域行事等において広く相互交流が図られている。児童館まつりは、諸団体と連携した地域の祭りとして定着し、幅広い世代が集う場となっている。年3回開催の運営委員会は約20の地域組織代表や個人の方が集い、児童館まつりの準備や反省会の場にもなっており、児童館が地域全体をつなぐ役割を果たしている。グランドゴルフ、手芸、折り紙、スポーツ、デイキャンプ等の児童館活動において地域の方と交流するほか、地域の歴史を生かした善應寺の探検・座禅体験や、高齢者施設との交流会など、地域の中に子どもの活動や関わりを広げている。児童館が拠点となり、地域における子どもの健全育成の環境づくりを進めており評価できる。</p> <p>気軽に参加できる乳幼児の行事は、週ごとに運動遊び、読み聞かせ、工作、わらべ歌とテーマを決めている。毎週継続して実施することで、保護者が見通しを持ち選択しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、年齢別に二つの登録制クラブ、子育て支援クラブや民生委員児童委員と連携した子育てサロン等を定期的実施することで、子育てしやすい地域づくりに努めている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室